

第1学年 外国語科 学習指導案	(単元名) Let' s Read 2 City Lights 場所：松山市立東中学校1年2組教室 指導者：和家 加奈 (T1)、森田 雅大 (T2)、カイ・ディアラブ (ALT)
--	---

1 単元の目標

友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、主人公と目の不自由な少女との出会いが描かれた物語を読み、概要、要点を捉えるとともに、読んだことを基に考えたことや感じたことを伝え合ったり、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いたりすることができる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 過去形や過去進行形の特徴やきまりを理解している。 過去形や過去進行形の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 	友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、主人公と目の不自由な少女との出会いが描かれた物語の概要、要点を捉えている。	友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、主人公と目の不自由な少女との出会いが描かれた物語の概要、要点を捉えようとしている。
話すこと「やりとり」	<ul style="list-style-type: none"> 過去形や過去進行形の特徴やきまりを理解している。 主人公と目の不自由な少女との出会いが描かれた物語を読んで考えたことや感じたことを、過去形や過去進行形などを用いて伝え合う技能を身に付けている。 	友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、主人公と目の不自由な少女との出会いが描かれた物語を読んで考えたことや感じたこと、その理由について、英文を引用するなどして伝え合っている。	友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、主人公と目の不自由な少女との出会いが描かれた物語を読んで考えたことや感じたこと、その理由について、英文を引用するなどして伝え合おうとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 過去形や過去進行形の特徴やきまりを理解している。 主人公と目の不自由な少女との出会いが描かれた物語について、事実や自分の考えを過去形や過去進行形などの簡単な語句や表現を用いて書く技能を身に付けている。 	友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、主人公と目の不自由な少女との出会いが描かれた物語を読んで考えたことや感じたことについて、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、主人公と目の不自由な少女との出会いが描かれた物語を読んで考えたことや感じたことについて、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

3 単元の指導観

(1) 教材について

本単元は、喜劇王チャップリンが監督、脚本、製作、主演したコメディ映画『街の灯』を基に描かれた物語である。主人公のチャーリーが目の不自由な少女と出会い、困っている少女を

助けたチャーリーが最後には少女に助けられる。少女は、目が見えるようになった後に助けてくれたのはチャーリーであったことに気付く。このように数奇な出来事を経て再び出会うまでの場面の変化や登場人物の心情を理解させるとともに、自分の経験や身近で起こった出来事と結び付け、「これからの生活に生かしたいこと」について自分の考えや意見をまとめさせたい。人間関係に広がりが見られる中学1年生の終盤となるこの時期に、友人や家族との関わり、社会との関わりについて考えさせることができる教材である。

(2) 生徒について

昨年度より小学校で英語が教科化されたことで、生徒たちはこれまでより多くの英語表現を身に付けている。その反面、すでに英語に対して苦手意識をもち、英語を使ったコミュニケーションや表現活動に消極的な生徒もいる。そこで、授業の基本的な学習形態としてペア学習を取り入れている。Q and A や問答ゲーム、1 minute speech、リテリングなどの帯活動でも、ペア学習を多く取り入れることで、生徒同士で教え合い、学び合う姿勢が育っている。また、学年始めより、ICTを活用した授業を日常化したことで、多くの生徒はICTを使った授業に興味をもって取り組んでおり、一人一台端末の操作に慣れている。ICTを積極的に活用し、一人一人に合った学びを実践することで、英語で自分の意見や考えを表現する力を養うとともに、ペア学習やグループ学習など、協働的な活動を通して互いに学び合うことで、コミュニケーション能力の育成を図りたい。

(3) 指導について

「松山の授業モデル」とICTを組み合わせる領域統合型の言語活動を中心とした授業を展開する。本単元は、物語文を扱っており、リテラチャー・サークル（まとまった分量の英文を読み、4人程度のグループで話し合い活動をする協同学習）の手法を活用することで、教科書の本文に基づいた生徒主導の話し合い活動を促進する。

第1、2時では、本文の内容を理解させ、音読練習に取り組ませる。家庭学習で学習者用デジタル教科書や教科書のQRコードを利用して音読練習するよう指導する。第3時では、生徒は4人グループ【ホームグループ】を作り、それぞれが Summarizer(本文内容を要約する)、Illustrator(印象に残った場面をイラストで描き、説明する)、Questioner(本文内容に関する質問を投げかける)、Connector(本文内容と関連する自身の経験や社会の出来事を話す)のうち1つの役割を担当し、役割別の課題に取り組む。

本時では、まず、帯活動として取り組ませている問答ゲームを行う。次に、これまでの本文の音読練習の成果をペアで確認した後、「ロイロノート」で録音して提出させる。そして、本時の言語活動を方向付けるための「学習課題の設定」を行う。物語を読む目的、話し合いの視点を明確にする学習課題を設定することで、単元のゴールである「物語を読んで、概要、要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを伝え合う」活動に向かわせたい。「交流し考える学習」の場面では、同じ役割同士のメンバーからなる【エキスパートグループ】での情報共有を行わせる。生徒はそれぞれの考えを持ち寄り、困り感を共有・解決しながら内容理解を深める。「ロイロノート」の共有ノートを利用することで、生徒はグループ内で考えを瞬時に共有し、気付いたことを互いに書き込みながら助言し合う。これらの活動を通して、後の話し合い活動に自信をもって臨ませたい。【ホームグループ】では、それぞれの役割に準じて発表し、話し合い活動を行わせる。生徒は、場面や状況の変化を相手にわかりやすくまとめたり、物語についての質問を考えたりして、話し合い活動を行う。グループの中で意見を述べ、それについてコメントを返したり質問をしたりしながら、より深い読解ができるようにさせたい。主人公のチ

チャーリーが与えた少女への優しさに気付かせ、自分が困っている人を助けたり、助けられたりした経験を級友と共有させ、物語と自分とのつながりを考えさせたい。そして、物語を通して学んだことを英語で表現させたい。「学習の振り返り」の場面では、「ロイロノート」のアンケート機能を活用して自分自身の達成度を評価するとともに、「話し合い活動で印象に残ったこと」「英語で言いたかったけれど言えなかったこと」についても記述させる。生徒の記述を、学級全体で共有し、分からなかった表現は既習表現を応用して言い換えることができることに気付かせる。

次時は、リテラチャー・サークルでの話し合いを踏まえて物語の続きを考えさせる。級友との話し合いを通して得た新しい発見や、登場人物の心情理解を振り返るとともに、オリジナルのストーリーを執筆させる。

4 単元的主要な学習活動(単元の指導計画(5時間))

時	学習活動	◇指導上の留意点 ◎評価【評価の観点 領域 】 (評価方法)
1	p. 124、125を読んであらすじを理解する。	◇ 場面の变化や登場人物の心情を考えながら音読練習をさせる。
2	p. 126を読んであらすじを理解する。	◇ 物語全体の場面の变化や登場人物の心情などを理解するために、出来事を時系列で整理させる。
3	『City Lights』の話し合いを行うための準備をする。	◇ 物語の内容をより深く、主体的に読み進めるために、一人一人に役割をもたせる。 ◎ 自分の役割を果たすために、自分の考えを英語で表現しようと粘り強く取り組んでいる。 【知識・技能/思考・判断・表現/主体的に学習に取り組む態度 読 】(観察、ワークシート)
4 (本時)	リテラチャー・サークルを通して、『City Lights』の内容について話し合いを行う。	◇ ジグソー学習を取り入れ、個で考えた際の困り感を共有・解決させながら内容理解を深めさせる。 ◎ 物語の内容に沿って、自分の考えを英語で言ったり、相手の意見を聞こうとしたりしている。 【知識・技能/思考・判断・表現/主体的に学習に取り組む態度 読、や 】(観察、録画、振り返りカード)
5	・リテラチャー・サークルでの活動を振り返る。 ・物語の続きの執筆をする。	◇ 振り返りカードの記述により、前時の活動を振り返る。 ◇ 前時のリテラチャー・サークルでの級友との交流を踏まえ、物語の続きを執筆させる。 ◎ 物語について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。 【知識・技能/思考・判断・表現/主体的に学習に取り組む態度 読、書 】(ワークシート)

5 本時の指導

(1) ねらい

『City Lights』を読んで、感じたことや学んだことを伝え合い、これからの生活にどのように生かすことができるかを考える。

(2) ねらいの実現につながる方策

- ・話合いの視点を明確にする学習課題を設定し、一人一人に役割をもたせて、主体的に話合い活動に取り組みさせる。
- ・「ロイロノート」を活用することによって、個の考えを瞬時に共有し、協働的な学習の時間を確保する。

(3) 本時の授業展開（単元計画 4/5時間）

学習活動	◇指導上の留意点 ◎評価【評価の観点】（評価方法）
<p>1 あいさつ</p> <p>2 問答ゲーム</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> Topic: Which do you like, playing outdoors or indoors? </div> <p>3 ルーブリック音読 〈■〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで音読練習をする。 ・「ロイロノート」で送られたルーブリック表のカードに音読課題を録音して提出する。 	<p>◇ 指導上の留意点 ◎評価【評価の観点】（評価方法）</p> <p>◇ ペアでトピックについて質問する人、答える人の役割で1分間対話をさせる。</p> <p>◇ 後日、提出された課題を聞き、評価を記入して生徒にフィードバックする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> Today's Goal 〈◆〉 : What can you learn from “City Lights”? What can you do in your life? </div>	
<p>4 リテラチャー・サークル 〈★■〉</p> <p>① ミニレッスン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回のリテラチャー・サークルの様子を振り返る。 ・話合いを円滑にする英語表現の確認をする。 <p>② ジグソー学習（エキスパートグループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Summarizer（本文内容を要約する。） ○Illustrator（印象に残った場面をイラストで描き、説明する。） ○Questioner（本文内容に関する質問を投げかける。） ○Connector（本文内容と関連する自身の経験や社会の出来事を話す。） 	<p>◇ 録画していた前回の活動の動画を映し、工夫していた表現等を学級全体で共有する。</p> <p>◇ T1、T2、ALTで担当するエキスパートグループに支援に入り、アイデアを共有させたり、分からなかった表現を確認させたりする。</p> <p>◇ 役割に準じて考えたことを「ロイロノート」で提出させ、それを基に、同じ役割の生徒同士で分からなかったことを尋ね合わせたり、アドバイスをし合ったりさせる。</p>

<p>③ 話し合い (ホームグループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループでめあてを確認する。 ホームグループ内で、自分の役割に基づいて各自が物語を読んで感じたことや考えたことを伝え合う。 <p>④ 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合ったことや印象に残った内容について報告する。 	<p>◇ T2とALTは話し合いに参加し、生徒たちの発話を引き出す。T1は各グループを巡視し、全体を把握する。</p> <p>◎ 物語の概要を捉え、自分が感じたことや考えたことについて伝え合うことができたか。また、伝え合おうとしていたか。【知識・技能／思考・判断・表現／主体的に学習に取り組む態度】(観察・録画)</p>
<p>5 本時の学習の振り返り (▼■)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りを「ロイロノート」のアンケート機能を活用して行う。 物語の終末部分を音読する。 <p>6 あいさつ</p>	<p>◇ 「言いたかったけど、言えなかったこと」について全体で共有し、どのように表現することができるか考えさせる。</p> <p>◎ 伝える内容を整理して自分の考えを伝えようとしたり、他の人の考えを知ろうとしたりしていたか。【主体的に学習に取り組む態度】(振り返りシート)</p>

(◆…学習課題の設定 ★…交流し考える学習 ▼…学習の振り返り ■…ICTの効果的活用)

6 研究の視点

- 「松山の授業モデル」に沿った学習活動は、主体的で深い読解を促進するとともに、自己表現力の育成につながったか。
- ICTの活用は、学習活動を効率的に展開するのに有効であったか。

リテラチャー・サークルに挑戦!

リテラチャー・サークルとは・・・まとまった英文を読み、その内容について小グループで話し合う活動。

※4つの役割

- ① Summarizer (サマライザー)・・・要約する人
- ② Illustrator (イラストレーター)・・・印象に残った場面を絵で表現する人
- ③ Questioner (クエスチョナー)・・・TF 問題、QA を作る人
- ④ Connector (コネクター)・・・自分の体験や世の中の出来事と結びつける人

Unit8の内容で、リテラチャー・サークルを実際にやってみよう!

リテラチャー・サークルの流れ

- ① 4人グループを作る。
- ② 役割を決める。
- ③ 自分の役割の作業をする。
- ④ 各グループから同じ役割の人が集まり、意見交換する。
- ⑤ 自分のグループに戻り、役割ごとにグループのメンバーに説明する。

Class() No.() Name()

役割シート

① Summarizer

Class() No()
()

あなたの役割は、本文内容を自分の言葉でサマリー（要約）を作ることです。（リテリングに似ていますね!）
グループでの話し合いは、サマリーの発表から始まります。

【考えるためのヒント】

- ・話の要点は何ですか。
- ・主な出来事は何ですか。

【発表のためのヒント】

- ・本文を理解する上で重要なポイントを含み、
順番は正しいか。
- ・重要なセリフを抜き出しているか。
- ・自分の言葉で書いているか。
(本文そのまま抜き出しのみは×)
- ・グループのメンバーが理解しやすい表現を
使っているか。



役割シート



②Illustrator

Class() No()
()

あなたの役割は、読んでいるときに心に浮かんだイメージなどを描写することです。

発表のときは、グループのメンバーに描いた場面の説明や、場面を選んだ理由などについて話します。

【考えるためのヒント】

- ・本文の中の出来事や思い出したこと
- ・本文を読んで得られた感情
- ・スケッチや図など

【プレゼンテーションのためのヒント】

- ・グループのメンバーに絵を見せて説明してもいいし、メンバーに説明を求めてもいい。
- ・絵の意味や、どの場面からイメージしたかを説明してもよい。

【英語で話すためのヒント】

I draw this picture because...

What do you see in this picture?

What do you think about this picture?

Large rounded rectangular area with horizontal lines for writing.

役割シート

③ Questioner

Class() No()
()

あなたの役割は、読み物についての質問を作ることです。

【考えるためのヒント】

- ・登場人物は何をしましたか。
- ・読んでいて不思議に思ったことは何ですか。
- ・次の展開はどのようになりそうですか。
- ・グループのメンバーと話したいことはありませんか。

【質問づくりのためのヒント】

- ①TF 問題(嘘か本当か)
 - ②Yes/No で答えられる疑問文
 - ③5W1H を使った疑問文
 - ④推測問題
 - ・答えは英文をよく読めば分かるもの。
 - ・答えは文脈から想像できるもの
 - ・本文の内容から、グループのメンバーの経験や考えについてたずねてみたいこと
- Did he~? Is she~?
When did he~? Why did she~?
What do you think about~? (~についてどう思う?)

①Q:

A:

②Q:

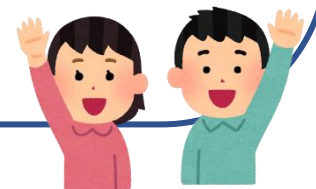
A:

③Q:

A:

④Q:

A:



役割シート

④Connector

Class() No()
()

あなたの役割は、本文の内容とあなた自身のつながり、世の中とのつながりを見つけることです。

【考えるためのヒント】

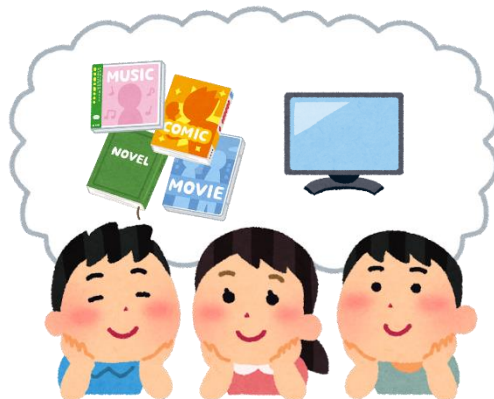
- あなたの過去の出来事
- クラスや学校、世の中での出来事
- ドラマ、映画、漫画、アニメなどの出来事
- 読んで思い出した人や問題など

【英語で話すためのヒント】

I remember ...

(This character) is like ...

I know a (TV drama) like that.



A large, empty rounded rectangular box with a blue border, intended for students to write their responses.

グループ司会シート

Class() No() ()

Let's enjoy Literature Circle!

	① Start Recording
Opening	② Let's get started. Today's goal is 【英語で目標を言う】 ③ Let's open our text books to page ~.
Share Roles	① I'm a Summarizer. Let me go first. 終われば、Thank you, 名前. ② Next, Illustrator, please. 終われば、Thank you, 名前. ③ Next, Questioner, please. 終われば、Thank you, 名前. ④ Next, Connector, please. 終われば、Thank you, 名前. ⑤ Now I want to talk about "()". What do you think?
Closing	① Thank you everyone. ② Please give me your handouts.
	③ Stop recording

自分の意見を言うとき、友達の話を書くときのフレーズ集を参考に、会話を深めよう!

Make Reactions! 友達の意見は、必ず相づちを打ちながら聞く!

Give some comments! 友達の発表の後にはコメントを言おう!



自分が話すとき

class No. ()

話しのはじめ方や意見を言うときの言い方を身に着けよう！

項目	日本語	英語
話始める	～について話しをします。	I'll tell you about ().
	～について話しをします。	Let me tell you about ().
	今日のトピックは～です。	Today's topic is ().
自分の気持ちや考えを言う	～だと思います。	I think (that) ~
	きっと(確かに)～です。	I'm sure (that) ~
	～だと信じています。	I believe (that) ~
	～だと知っています。	I know (that) ~
	残念ですが～です。	I'm afraid (that) ~
	～したいです。	I want to ~
理由を言う	～だからです。	I () because ().
間をつなぐ	ええと…	Let me see.
	ええと…、そうですね	Well,
	ええと、ほら	You know,

5W1Hを意識して話そう

誰が (Who) いつ (When) どこで (Where)
 何を (What) なぜ (Why) どのように (How)

友達のスピーチを聞いて

class No. ()

スピーチを聞いて、コメントを言ったり、質問したりしよう。

項目	日本語	英語
スピーチ全体	◎君のスピーチ気に入ったよ。	I like your speech.
	◎君のスピーチはよかったよ！	Your speech was [good/wonderful/excellent/great/cool/super/fantastic]!
笑顔 アイコンタクト	◎アイコンタクトがよかったよ。	You made good eyecontact.
	◎笑顔がよかった。	Your smile was excellent.
	◎笑顔でいてね。	Smile, please.
	◎アイコンタクトをしてね。	Make eyecontact, please.
みんなに聞こえる声の大きさ 話すはやさ(ゆっくりと)	◎はっきりと話していたね。	You spoke clearly.
	◎発音が明瞭でよかった。	Your pronunciation was clear.
	◎声が大きく、はっきりしていたね。	Your voice was loud and clear.
	◎もう少し大きな声で話してね。	Speak more loudly, please.
	◎もう少しはっきり話してね。	Speak more clearly, please.
	◎もう少しゆっくり話してね。	Speak more slowly, please.
正しい発音 イントネーション(強弱) 良い姿勢 内容に合ったジェスチャー	◎発音がいいね。	Your pronunciation is good.
	◎姿勢がいいね。	Your posture is good.
	◎ジェスチャーがいいね。	Your gesture is good.
	私もそう思います。	I think so, too.
	私はそう思いません。	I don't think so.
	なぜそう思うの？	Why do you think so?
	～が好きなんですね。なんの～が好きですか？	You like [], right? What [] do you like?
	お気に入りの[もの/人]は何ですか？	[What/Who] is your favorite ~?